

ファンタジー／グリセリン使用説明書

ファンタジー／グリセリンとは、枝物のプリザーブド（ユーカリ、モミジ、竹等）を作成するための溶液です。（花を加工することはできません）
別売りのファンタジー着色剤と混ぜて使用して下さい。

★ミスティー（花用のプリザーブド加工液）とファンタジーは、完全に別物になりますので、混ぜて使用することはできません。

①グリセリン処理をする前に（溶液の作成）

○切花着色剤ファンタジーとファンタジー／グリセリンを1：1（半々）で混ぜて下さい。

○使用する液量の目安は、茎が5cm程度漬かるぐらいです。

★液の使い回しはできません。その都度、必要な分だけ液を作るようにして下さい。

★ファンタジー着色剤の代わりに水で薄めた場合、出来上がりの色は褐色になります。元の色をそのまま残すことはできませんのでご了承下さい。

②グリセリン処理

○加工したい枝物を切り戻し、切り口を①で作成したグリセリン溶液に漬けます。

○暖かくて（25℃前後）、日当たりの良い所でグリセリン液を吸わせます。
（水分の蒸散の激しい所に置いて下さい。）

○植物の先端に色が着いてから、2週間程度そのまま吸わせれば完成です。
（処理中に液が足りなくならないように注意して下さい。）

★液から取り出したら、茎を軽く水洗いしてよく水気をふき取って下さい。
（乾燥させる必要はありません。）

★吸い上げにより作成するため、出来るだけ新鮮な植物で加工して下さい。グリセリンは、水よりも吸い上げにくい液体ですので、鮮度が悪いと完成しない場合があります。

★サボテンやアイビー、ポトスのような水上がりの悪い植物は加工することが出来ません。水揚げの悪い植物は加工しにくいです。

③完成後の保存

○完成後は水を吸わせる必要はありません。

○出来るだけ湿気が少なく、日の当たらない所で保存して下さい。湿気や直射日光にさらされると、色があせてきますのでご注意下さい。

パレス化学株式会社

Flower & Green Section

横浜市金沢区福浦 1-11-16

TEL 045-784-7245

FAX 045-788-1524

ファンタジー／グリセリンの使用例

作成出来るもの	出来ないもの
ユーカリ	アイビー
もみじ	ポトス
竹	スモークツリー
エノコログサ	サボテン
ゲーラックス	ハラネ
フウセントウワタ	レザーファン
粟	
稲	
麦	
ナルコユリ	
アスパラ	
ラグラス	
セロニア	
ガマ	
ゴッドセフィアナ	
ミリオン	
ドウダンツツジ	

○イネ科の植物

基本的に作成出来ると思われませんが、若い時期（青穂）にしか作成できません。
（落葉の時期は×）

○竹やもみじ

新鮮な植物であるほど、失敗が少ないです。
グリセリン液をあらかじめ準備していき、切ったらすぐに漬けて下さい。

特に竹は、落葉する前の6月～7月にかけてしか作成することが出来ず、水も上がりにくいので伐採してすぐに液に漬けるようにして下さい。

◎30℃以上や屋外での直射日光は避けた方が無難です。最適温度は25℃前後(?)
また、湿度の高い場所や時期は作れないので、雨の日も避けた方が無難です。